

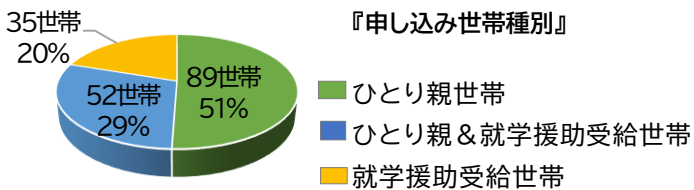
フードバンク狛江 ニュースレター



発行：NPO 法人フードバンク狛江 TEL/FAX 03-5497-0272 mail：info@fb-komae.org

～2021 夏休み、食の分かち合いで子育て応援～ コロナ禍2年目、176 の子育て世帯に食品提供

コロナ禍の拡大で、子育てする親御さんの心配ごとや、子どもも我慢を強いられる日々が続いています。そんな状況から、昨年までのひとり親子育て応援をふたり親で就学援助を受給する世帯にも広げ、親子が少しでもホッとしてもらえるよう、食品提供を実施しました。8月9日締め切りまで 176 世帯の申込みがありました。コロナ感染爆発によって役員・スタッフで話し合い感



染防止から直接受け取りを急遽8月1日までの申込み分までとして、以後は配送のみで受け付けました。



受け取りにはお子さんを連れて来られる方も多く、中にはお子さんから「今日お誕生日なの。」「お誕生日おめでとう！」などと声をかけあい、コロナ禍、頑張っていることを労うなど交流し合える大切な場となっていることを実感します。

【活動報告】

- 6月**
 - 8日 福祉相談課と「協定書」の協議
 - 29日 学校教育課と就学援助世帯支援の打ち合わせ
- 7月**
 - 1日 狛江市と食料支援連携に関する協定を締結
 - 12日 子ども政策課と打ち合わせ
 - 29日 子育て応援申込開始(8/9 締切)
- 8月**
 - 2日 子育て応援食品配送始まる
 - 6、8、12日 事務所で直接お渡し
 - 12日 子育て応援食料支援終了
- 9月**
 - 10日 東都生協のフードドライブ食品の仕分け、引取り

【今後の予定】

- 10月 食品ロス削減推進月間**
 - 26～29日 市庁舎ロビーで食品ロス問題のパネル展示
 - 30日 食品ロス削減の日
くらしフェスタでフードドライブ実施
- 11月初旬** 冬休み食の分かち合い子育て応援準備開始

たくさんのご支援、ありがとうございます！

返送アンケートにはコロナ2年目になって親御さんからは仕事や生活だけでなく、お子さんへの心配や気苦労なども見えてきます。また、給食のない時期の食料支援が、「ひとり親家庭だけだと思っていたのが、ふたり親家庭へもあった」とことや、「この支援が狛江にあって羨ましがられた」と初めて受け取った方にも喜ばれている感想が寄せられていました。

コロナ禍でも企業・団体からの寄贈食品と共に、本当に多くの市民からも食品寄贈をいただいています。お子さんへの想いや不足している食品を送りたいと、買って寄付していただく食品も届きます。そのおかげで、狛江市の生活困窮相談窓口



こま YELL には、毎月平均120件を超える世帯に合わせ、食品セットしてバラエティー豊かな食品を提供できています。子育て応援176世帯への提供も、皆さまのあたたかい寄贈で可能になりました。心から感謝申し上げます。

感謝の声が多く寄せられています

収入が減ったので、買い物もなるべく節約を意識して行っていたので、食品を頂けてとてもありがたいです。食品を提供してくださった皆さんの気持ちを想い、本当に感謝しております。いつかそのうちに余裕が出来たら、今度は食品を提供する側となって恩返ししたいと思います。

この度は食品を送って下さり、本当にありがとうございます。食品を寄付して下さった市民の皆様にも心から感謝申し上げます。まだまだ残暑も厳しい折、皆様もお体に気を付けてご自愛下さいませ。お幸せをお祈りしております。

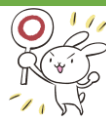
10月は食品ロス削減月間 そして10月30日は食品ロス削減の日

まだ食べられるのに
家庭に眠る食品を捨てずにフードバンクへ！

10月30日(土)

午前10時～午後2時

狛江駅前メビウス広場で行われる
『くらしフェスタこまえ 2021』で
フードライブを実施します！



クイズで食品ロスを知ろう！

10月26日(火)～29日(金)

狛江市庁舎 2階ロビー

パネル展示で食品ロス削減を呼びかけます



フードバンク狛江は
持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

※感染拡大の状況によって、変更または中止となる場合がございます。
ご来場の際は、マスクの着用をお願いします。

理事長コラム 理事長 田中妙幸

狛江市とは2017年に最初の食料支援連携協定を
交わし、福祉相談課の生活困窮相談窓口こま YELL
を通じて、自立相談の食料支援を担ってきました。

困窮者支援のほかに、2018年夏休みから取り組んだ
ひとり親家庭への子育て応援食料支援や、5年目になるこま YELL の学習支援と
昨年からは始まった子ども政策課の学習支援を受けるお子さん達へのお菓子・飲料
の提供を実施してきましたが、当初の協定には盛り込んでいませんでした。
そこで連携の目的や役割など大枠を「基本協定」に明示し、それぞれの活動は連携
内容に踏み込んだ「年度協定」として7月1日付で改めて締結しました。

狛江でフードバンクを立ち上げた7年前、全国で26団体程しかなかったフード
バンクが現在は130以上立ち上がっています。2019年食品ロス削減推進法に
「フードバンク活動への支援」が盛り込まれましたが、残念なことに国や行政から、
事業運営の補助や支援策が具体的に引き出せずにいます。コロナ禍ますます食料
支援の必要性が高まっているなか、助成金や寄付で何とか自転車操業しながら、
要請に応じて頑張っているフードバンクが多いのが現状です。フードバンク狛江は、
ありがたいことに狛江市から遊休施設を借りられていますが、年間16トンを超え
さらに増える「食品ロス」食品を「困窮者支援に活かす」フードバンク事業の持続
可能性は、まだこの先も模索が必要なようです。

5周年誌ができました！

2020年5月
法人化5年目を迎え、
写真でつづる「5周年誌」を
作りました。
皆さんにご一読いただけたら
嬉しいです。
冊子をご希望の方は、
ご連絡ください。



6月～8月 寄付・食品寄贈でご支援いただいた皆さま、 本当にありがとうございました！

■食品の寄贈(敬称略):尾西食品(株)/明治グループ/コカコーラボトラーズジャ
パン(株)/東京すずらん/三色パステルアート/おてらおやつクラブ華蔵院/パル
システム東京狛江センター/フードバンクかわさき/㈱ティーガイヤ/(株)モランボ
ン/サントリーホールディングス(株)/天理教江東分教会/㈱ゴールドレイシオ/
(株)堀口珈琲/コープみらい調布染地店/Premier Solution Japan(株)/グルメ
シティ三鷹中原店/foodium 下北沢/全国珍珠商工業協同組合連合会/(株)プラ
ンニングオフィスエスエムエス/ひだまりセンター狛江市教育研究所/フードバンク
みたか他、企業・市民の皆さまより約2.2トン。

■お金の寄付:延べ61名の皆さまから総額約26万円の寄付を頂戴しました。

緊急事態宣言中も
感染対策を徹底し開所しています

西野川事務所
毎週月曜・木曜13時～16時

市庁舎作業所
毎週月曜・木曜13時～15時



NPO 法人 フードバンク狛江 事務所・倉庫

〒201-0001 狛江市西野川 1-16-7
開所日: 毎週月曜・木曜 13時～17時
当面の間 13時～16時に時短で開所しています。
Facebook: 「フードバンク狛江」で検索

現金や振り込みだけでなく、
クレジットカードでも寄付を
受け付けています。

